

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	スマート建築モニタリング応用小委員会	主 査 名：山邊友一郎 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：倉田成人
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【設置目的】本小委員会は、2005年設置の性能モニタリング小委員会以降のモニタリング関連小委員会の活動を継承・発展させるものとして提案する。建物の計画、設計、生産、運用、維持管理、解体に至る各段階で、建物に関する各種情報をモニタリングして活用する情報システムを調査研究の対象とする。建物を総合的に捉えるため、計画、構造、環境、生産、材料施工の分野横断的検討、研究、実務のそれぞれの視点からの情報整理を行うことにより、新たな価値を整理する。また、ビッグデータ、スマートシティなどの最新の技術動向の調査や、巨大地震対策などへの応用性の検討も併せて行う。</p> <p>【各年度活動計画】</p> <p>初年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会を年 4 回開催し、必要に応じて見学会を開催する。 ・2015年度日本建築学会大会で、感性工学デザインシステム研究小委員会との合同 OS を実施する。 ・情報・システム・利用・技術シンポジウムにおいて OS を実施する。 ・他学会と連携したシンポジウムを開催する。 <p>2年度：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会を年 4 回開催し、必要に応じて見学会を開催する。 ・日本建築学会大会、情報・システム・利用・技術シンポジウムにおいて OS を実施する。 ・他学会と連携したシンポジウムを開催する。 ・ワークショップを開催する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：山邊友一郎 (神戸大学) 幹事：遠田敦 (日本大学), 倉田成人 (筑波技術大学), 谷明勲 (神戸大学) 委員：加賀有津子 (大阪大学), 白石理人 (清水建設), 新宮清志 (日本大学) 杉本照彦 (竹中工務店), 登川幸生 (日本大学), 長尾嘉満 (早稲田大学) 中川純 (早稲田大学), 西本賢二 (ベターリビング), 林田和人 (早稲田大学) 藤本郷史 (宇都宮大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	160,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.ajj.or.jp/gakujutsushinko/m-000/m040-12.html

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 2 回ゼロエネルギー建築と知的環境シンポジウム 参加者数 74名 『同名資料』 2. 第38回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画 OS「建築・人間の時間変化データのセンシング」(感性予測 デザイン研究小委員会と共同) 参加者数 19名 『第38回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>目標達成度：80%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会を5回開催した。(①2015/05/15, ②2015/08/21, ③2015/10/07, ④2015/12/22, ⑤2015/03/16 予定) 2. 電子情報通信学会「知的環境とセンサネットワーク研究会」と連携して、「第2回ゼロエネルギー建築と知的環境シンポジウム」を開催した。 3. DMM. make AKIBAにて見学会を実施した。 4. 大会でOSを実施した。 5. 第38回情報・システム・利用・技術シンポジウムでOSを実施した。 6. 画像電子学会と合同で建築と画像電子の共通領域研究会を立ち上げた。
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. センサを利用したワークショップの企画を進めているが、実施できていない。 2. 委員（環境分野）の追加を図る。
その他	